

(様式2)

2019年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書  
( 中間報告 ・ 最終報告 )

2020年 3月31日

福岡女子大学学長 殿

申請者

所属名

国際文理学部

職名

助教

氏名

田上 優子



事業名 (テーマ)	教職協働による「なでしこソフトランディングプロジェクト～おもてなしの精神をまなぶ」		
事業実施者及び 事業分担者	学術情報センター 大瀧麻耶 ラーニングcommons 金光真美	大学院生及び 学外協力者等	
<p>活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること) ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。 (活動内容)</p> <p>2019年度の活動として以下のものをおこなった。 1)「英語会(おもてなし学習会)」の実施 年間を通じて2ヶ月に一度のペースで職員・教員参加の英語学習会をおこなった。使用したテキストは2018年度から継続して「ホスピタリティの英語(English for Best Hospitality)」(英宝社)である。参加者は年5回30名、別途12月19日開催回は16名。 2) 招聘講師による講演会・ワークショップの開催 ・10月19日(土)には英語劇指導者の小口真澄氏を招いて、半日かけて「演劇ワークショップ」 ・11月18日(金)には、フリーランスの日英朗読家の青谷優子氏を招いて「英語朗読セミナー」 ・12月9日(月)にはマリ・クリスティーヌ氏を招いた「世界における日本の今」の講演と座談会 3) 文化体験ワークショップの開催 ・6月11日(火)には、内野敏子氏による「水引ワークショップ」 ・1月15日(水)には森由美子氏による「カリグラフィー」講師作品を製作 4) 同窓ネットワークの活用 ・2018年に引き続き、8月3日(土)に卒業生で教職に就いた方5名を招き、座談会形式で在学生との交流の機会をもった。 5) 留学帰りの学生の英語力を保つためのTOEIC®の対策講座の開催・支援(2019年12月～2月)</p> <p>(成果)</p> <p>1) 参加した職員の部署に応じた実用的な英語使用ができるように、会話の発話練習やディスカッションを中心に放課後の自己研鑽の場を提供した。とりわけ12月実施の会では、口こみ連絡による学内有志の職員、教員の複数参加があり、学生のごと、学内諸般の雑多なことについて気負わずに話をするのできる、教職員にとって格好のコミュニケーションの場となり、教職協働(共働)の交流の機会となった。 2) 「演劇ワークショップ」参加者はESS部員を中心とした学生であったが、部外の学生や図書館職員など、企画に興味をもった者が積極的に参加でき、表現のプロから丁寧に指導を受けることで、参加者には達成感に満ちた内容となった。参加者は21名 「英語朗読セミナー」参加者は学生9名、教職員14名 合計23名であった。謝金は後援会から支給いただいた。 小口、青谷両氏はキャリア教育にも造詣が深く、どちらのセミナーでも「声を前に出す」(相手に聞きとってもらえる大きく明瞭な声で話をする)ことはトッリーダーの必要条件であり、信頼関係を築く上でも、自分の声を操ることが重要であることを学べた。キャリア教育としてもとらえられるこのような機会をより多くの学生に提供することは重要であるように思う。 「世界における日本の今」の講演と座談会をおこなった。多様性について、ご自身の経験から機知に富むお話しをされた後、座談会においては、職場におけるバワハラ・セクハラについて講師も受講学生も熱心に意見交換をすることができた。参加者は18名 3) 「水引ワークショップ」留学生にも参加を呼びかけ、英語にて水引の歴史や作り方を伝授するために、学生が通訳サポートとして参加した。参加者は 学生16名と教職員7名 「カリグラフィー」年末年始のイベントにも利用できる作品を製作した。参加者は16名 両講座とも学年を超えた学び合い(例えば下級生が上級生に製作のコツを教えるなど)の場面が見られ、体験的で楽しい文化的な学びの場だったといえる。 4) 4～5名の分科会形式で机・いすを配置したため、和やかでリラックスした雰囲気の中で質疑応答の時間が十分にとれた。参加者は 学生9名、教職員7名 計16名 5) 講師は英語の短所を長所に変える本学学生に特化した学習法を紹介し、綿密な計画で指導をおこない短期間で飛躍的にTOEICスコアを伸ばす学習のコツを学ぶことができた。謝金は後援会から支給いただいた。講座終了後に3月のTOEIC試験を受験する予定であったが、コロナウィルスの影響で試験は中止となった。参加者10名</p>			



## なでしこソフトランディングプロジェクト 2019 年度報告

2019 年度も、本学における「おもてなしの精神も付したグローバル化」を進めるため以下の事業を企画し実施した。

### 1) 「英語会(おもてなし学習会)」の実施

年間を通じて 2 ヶ月に一度のペースで職員・教員参加の英語学習会をおこなった。教職員にとってのコミュニケーションがとれる自己研鑽の場。

### 2) 招聘講師による講演会・ワークショップの開催

・10 月 19 日(土)「小口真澄氏による演劇ワークショップ」

・11 月 18 日(金)「青谷優子氏による英語朗読セミナー」

・12 月 9 日(月)「マリ・クリスティーヌ氏による講演会」

講演後の意見交換会でも活発な議論が展開された。リーダーシップをとるためには相手に届く声の力を知り、コントロールすることが重要であることを参加者は学ぶ。

### 3) 文化体験ワークショップの開催

・6 月 11 日(火)「内野敏子氏による水引ワークショップ」

・1 月 15 日(水)「森由美子氏によるカリグラフィー」

手作業による文化交流の意義を体得する体験学習の場であった。

### 4) 同窓ネットワークの活用

8 月 3 日(土)教職の卒業生と学生との情報交換会・座談会においてロールモデルとなる幅広い年代との交流、情報収集ができた。

### 5) 留学帰りの学生の英語力を保つための TOEIC®の対策講座の開催・支援(2019 年 12 月～2 月)

綿密な計画をたてて TOEIC スコアを伸ばす学習のコツを講師により指導を受ける。

(様式2)裏面

事業費の交付決定額(円)

344,000 円

事業費の決算額(円)(領収書を添付すること)

323,804 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費	カリグラフィーテキスト	3,500
	カリグラフィー作成時の容器・ティッシュ等	1,540
	水引100本	1,944
	雑誌「英語教育」(英語会用資料)	836
	英会話テキスト,TOEICテキスト5点(英語会用資料)	10,449
	Bluetoothスピーカー(英語会用機材)	14,080
印刷製本費		
旅費交通費	水引ワークショップ講師交通費	8,140
通信運搬費	カリグラフィーテキスト送付代	510
備品費		
その他	同窓生座談会・談話会茶菓代	10,233
	同窓生座談会コーヒーポットサービス	3,000
	演劇ワークショップ参加者ペットボトル茶	3,540
	演劇ワークショップ講師・スタッフ昼食代	2,200
	年末英語会・談話会飲食	1,905
	年末英語会・談話会飲食	1,447
	年末英語会・談話会飲食	455
	カリグラフィー情報交換会用茶菓	7,624
	水引ワークショップ通訳の学生謝礼(QUOカード)	1,570
	水引ワークショップ講師税金	831
	同窓生座談会 謝金交通費(2,000×5)	10,000
	演劇ワークショップ 講師謝金	120,000
	「世界における日本の今」講師謝金	120,000
	合 計	

※費目等は適宜追加・削除すること

